



2021年10月27日

各位

会社名 株式会社ダイショー
代表者名 代表取締役会長 松本洋助
(コード番号 2816 東証第二部)
問合せ先 経営企画室・広報室 森健一郎
(TEL 092-611-9340)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,600	百万円 360	百万円 360	百万円 230	円 銭 23.83
今回修正予想(B)	10,800	560	560	370	38.33
増減額(B-A)	200	200	200	140	
増減率(%)	1.9	55.6	55.6	60.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	10,420	489	496	328	33.98

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 修正の理由

第2四半期累計期間におきましては、小売用製品では鍋スープの新製品投入と販促プロモーションで前年同時期の需要急拡大の反動減の影響をカバーする一方、業務用製品では家庭内調理機の高まりの継続と惣菜市場の回復のなか、新規市場開拓への取組み継続が奏功し好調に推移しました。この結果、売上高は当初予想を上回る見通しとなりました。

また、売上高が予想数値を上回ったことに伴い、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましても、当初予想を上回る見通しとなりました。

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が懸念され、経済および個人消費の回復の遅れや、小売用製品をめぐる販売競争の激化により、市場環境の先行き不透明感が残ることから、現時点では前回発表の予想数値に変更はございません。

今後の業績の動向により、通期業績予想の修正が必要となった場合には、すみやかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上